

学校法人 北関東カトリック学園 聖家幼稚園認定こども園

園児数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
59名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 () 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 () 体づくりに関する家庭との連携 () 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

- ・遊びを通して自発的に体を動かす楽しさを感じられるようになる
- ・様々な遊びの中で多様な動きの経験を重ね、基本的な動きやバリエーションの習得と洗練化を目指す
- ・友だちとコミュニケーションを取りながらルールを覚えたり協力する楽しさを味わったりする

2 実施内容

- 1) 3歳児 (年少児) 「様々な動きを通して身体を動かす楽しさを感じる」～生活の中でくりかえす
 - ア 動物まねっこたいそう～絵本から 音楽とともにになりきり遊びを楽しむ
はう (前進・後退) 四つん這い くぐる ころがる とぶ 歩く 走る しゃがむ はねる
 - イ ふだんの生活や遊びの中で場所 (保育室、ホール、園庭など) を選ばない
- 2) 4歳児 (年中児) ごほうびシールで視覚から意欲向上へ
「サーキットで体の動きがステップアップする喜びを体得する」
 - ア とび箱にチャレンジ—跳躍 バランス リズム 連結 集中 挑戦 達成感
 - ① 2人組でその場でジャンプ、ボールを使い足の下をくぐろう→他の友だちと繰り返し行う
 - ② 両足ジャンプ→ウシガエルジャンプ ロイター板で とび箱に登ってジャンプ
 - イ ボールあそび—バランス 反応 連結 定位 認識 集中 協調性
 - ① 大きな布の角を4人で持って、ボールが落ちないように弾ませよう
 - ② ひとつの輪になり隣の人に送っていき、合図で反対送りをくりかえす
 - ③ 2グループで1列になり上から下からのボール送り→1列になってつなぐよ
- 3) 5歳児 (年長児)
 - 「なわとびを用いてひとりや友だちと身体を使う楽しさを味わう」—跳躍 リズム 充実感
 - ア ひとりまたはふたり跳び
 - ① 片手で縄を回す練習から両足跳びのタイミングを体得する→走り跳びを楽しむ
 - イ 大縄跳び
 - ① 入るタイミングと跳ぶ位置に印づけし声を合わせてリズムをとる

3 主な成果

- ・「次はなにかな」とわくわくしながら動きを真似ようとし、のびのびと身体を動かすことができた。
 - ・おたがいの動きを見合ってタイミングを合わせたり、声かけの合図によって敏捷な反応が養われたりする。
 - ・「できるのかな」など苦手意識のある子の気持ちを受けつつ、それぞれに挑戦できる環境設定の工夫や前向きの言葉がけにより「分かってきた！」と自信に満ちた表情で取り組めるようになってきている。
 - ・少しずつできることも増え、“次はこれをやる！”などと次の目標に向かって友だちと自発的に励む姿も見られるようになってきた。
- ◎園生活では少なくとも1.5時間ほど園庭内外で身体を動かすさまざまな遊びを展開している。年齢とともに体幹が強くなってきており、姿勢保持や聞く集中力にその効果が見られる。

年少児 「動物絵本を通して身体を動かす運動遊び」



距離をとりながら同じ方向で



う〜ん これでいいのかな
なりきるのってたのしいっ！



手足の動きと体幹のバランス

年中児 「体の動きがステップアップするよこび」



カエルとびでジャンプ！
手と足の位置はこうだね



ロイター板を使ってジャンプの
感覚を体得すればこの通り



見えないけど友だちを信頼
して集中！のボール送り

年長児 「毎日のなわとびで体力向上とコミュニケーションをとるよこび」



まっすぐ跳ぶバランスはくり
返していくうちにおぼえるね



まわして、走って
どこまでもいける
感じ！



声を出しながら息
をあわせるって
むずかしいけど楽
しいよ



リズムにのって一体感のうれしさ



いつでもしっかり走れる
よ！友だちと一緒になら